

# まるみえ 博善社!

おでかけ  
version



vol.23 2022年 9月号

このニュースレターはブログ「まるみえ博善社!」をおでかけ用に着飾ったちょっと役に立つ情報紙です。お昼の休憩時間やお風呂あがりにお読みください。  
回覧歓迎! 回覧すると幸せになれるご祈禱済み(笑)

## 今月のチャレンジ

大人も自由研究をしてみよう!

理科の知識で大脱出! ドラマ「漂流兄妹」が8月にNHKで3週連続放送された。  
「紙で作った鍋で、魚の煮込みはできる?」「ペットボトルで、電気を使わないクーラーは作れる?」など理科の知識が満載な物語で災害時に役立つかも。大人も課題として一度やる価値あり。



▲神戸の新しい劇場型アクアリウム「átoa(アトア)」

ガラケー・スマホと共に普及した縦型画角。夏休みに訪れたAquarium(水族館)to(と)Art(アート)が掛け合わされた神戸の都市型アクアリウム「átoa(アトア)」でも訪れた人々は縦に構えたスマホで写真・動画を撮る人ばかり。左右の目で横の広がり捉えるがスマホの中は「縦型×動画」のTikTok、Instagramリール、Youtubeショートが主流なもの面白い。

# お!! 仕事のヒント

## 集客に動画をどう使うか?

先月8月。守山商工会議所で「売れる動画制作1DAY実践講座」を受講した。

なんとも長いタイトルだが、命名したのは私だ。そして、正確に言うとう受講しただけでなく現在運営サポート中である。

コロナ禍、テレビ離れ、1人1台スマホ環境・・・短時間で沢山の情報量を伝えられる動画のニーズは高まっているが、地元商店やIT非活用の会社は、まだまだ商売にどう繋げたらよいか分からないだろう。じゃ、「動画セミナー」を開催すればいいんじゃないか?と考えたのだ。

講師実績のある私の師匠なら良い講座になると、守山商工会議所さんに話をもちかけたのが1年前。商工会議所さんから、高校生の制作ボランティアや動画コンテンツ開催と、さらに面白く発展的な意見が出て実現した。当社も動画ニーズに定める体制を整えたが宣伝不足もあり「どこまでやれんのか?」の疑いを払拭するためにセミナーを通じてプロモーションをしたかった。

さて、問題は動画をどう使うかだ。「動画」という言葉だけでは大きくて曖昧。動画にも目的がある。大半の企業は新規顧客獲得が目的ではないだろうか?消費者向けの映えるような衝動買い商材ならインスタのリール動画がいいかもしれないが、困り事解決のために企業を探す人向けには、YouTubeに自ら出演して人となり伝える動画が必須だろう。目的が違えば露出するプラットフォームも動画の尺も最適化が必要だ。

今回のセミナーは撮影・編集まで学べるものだが、これは繰り返す内に上手くなるものだが、重要なのは企画・構成部分。順番や内容を絵コンテを使って組み立てること、これが売れる動画の要素8割を占める。企画と構成がきちんと出来れば撮影と編集は楽になりコストも抑えられる。これは紙媒体も同じこと。顧客が初めて接触する動画なら60秒以内がベター。シェアもされやすい。そこに差別化ポイントやポリシー、顧客が知りたいことをギョギョッと凝縮する。動画も紙媒体も、売れるコンテンツの見極めが重要なのだ。あとは、商用動画なら恥ずかしがらずに是非キャラクターが伝わるミディアムショット(バスタップ)で登場すべき。

SNSで情報が瞬間的に消費される時代。せっかくなかった動画が長期的に視聴されるために、YouTube検索を意識した動画が一番コスパが良い気がしている。



コバスポ

キングカズを崇拝。20代に交ってキックボクシングをたしなむ40代。ケガをしない程度に頑張ります!



▲セミナー講師の伊藤ノリ氏



▲効果的な光の当て方をレクチャー

輝くチーム力!

# キラリ探検隊

「コミュニティから実務をこなすチームへ」  
「動画のチカラ」

今回は自作自演。博善社印刷内の動画事業部「動画のチカラ 関西支部」の紹介です。「動画のチカラ」とは元々カナダに居たビデオグラファー伊藤ノリ氏が立ち上げた動画のスキルを磨く、ための単なるコミュニティだった。海外の最先端のスキルをYouTubeで日本人向けに発信するのはウケが良かった。有名なクラウドファンディングサイト、キャンプファイヤーがコミュニティを立ち上げたい個人のプラットフォームにもなっている。コミュニティと馬鹿にすることなけれ、今や全国の動画制作の実務をこなすチームになった。参加者は100名弱。全国どんな案件でもZoomで伊藤氏のディレクションと共通言語を持った中で進めるので、クラウドソーシングへの発注時に起こる品質のハズレや進行ストレスもない。当社は最近、静岡の

## ハク(兔)&ゼン(猫)の日常



▲「動画のチカラ」メンバーでの撮影風景

企業から周年記念誌を印刷物ではなくDVD動画にして見てもらえるようにしたいという相談を受け、対応中である。写真は東京が拠点のお酒に合う大人の高級チョコレートのBロール(IIインサート動画)の撮影風景。松の司で有名な松瀬酒造(滋賀県竜王町)様にチョコに合いそうなお酒を紹介していただきPR動画制作が実現した。動画制作だけでなく、動画制作のスキルをアップしたいという要望にも応えている。今回「仕事でのヒント」のコーナーで紹介した動画制作講座も行いあらゆる動画ニーズに対応したい。小さな個人や企業でも今の仕組みを組み合わせ仲間を集めれば成果を生み出せるチームを創ることができ。(コバスポ)

## 日々の暮らしが良くなる話

使っていますか? 宅配ロッカー



PONDA  
いつも心に4色ペンとランポーを。過酷な世の中を生き抜くサバイバル術(暮らしに役立つこと)を発信します。

ネット通販の人気で宅配の利用が増加、再配達率も上昇して宅配業界の負担が増しているようです。そんな中、大都市にしかないと思われた宅配ロッカーが実は滋賀県各地でも増えています。メリットは何といっても自宅まで到着を待たず、配送所やコンビニで手渡しで受け取らず(感染症対策)、自分の好きな時間に取り出しに行けるところ。Amazon独自の屋外の指定した場所に配達する「置き配」が画期的と話題になりましたが、やはり盗難・天候

などのリスクも心配です。滋賀県内では現在2種類の宅配ロッカー「PUDO(40箇所)」と「Amazon Hub(20箇所)」があり、設置箇所が増加しています。利用はスマホさえあればOK! PUDOでは受取りはもちろん、発送も出来るのがすごいですね。不在がちで自宅に宅配ボックスがない方や出先で受取りたい方など用途は様々なに利用出来そうです。



## チャリで寄り道



チャリてら  
GACKTが同級生の元守山高校生徒会長。今もチャリ通の博善社システム担当大臣。近年のICT化等を踏まえた情報をお伝えします。

先日、携帯回線に5G接続を追加しました。行動範囲のエリア的にはまだほとんど対応していないのですが、機種変更と一緒にオプションで申込みました。開通直前には「5Gが世界を変える」といった記事や報道を多く見ましたが、現状、あまり恩恵を受けられず…。しかし、このコロナ禍で大きなイベントが開催を見送り、オンラインでの開催が一気に増えたように思います。「まるで現地にいるような体験」が5Gで可能になると豪語していたので、そんな世の中が来ることを楽しみにしています。

カンタンで効率的! うまく行く会社の方程式!!  
つくったチラシをそのまま動画に  
手っ取り早くておススメ!  
今ある印刷物からも動画をつくれます!

<お問合せ・ファンレターはコチラまで>

□取材OKの御社の商品・サービスは随時募集しております。 □苦情はメールだと凹むのでお電話にてお願いします。

博善社印刷株式会社 広報部 〒524-0012 滋賀県守山市播磨田町 38-4  
Tel. 077-582-5050 Fax. 077-582-5058 Email mail@hakuzenp.co.jp

バックナンバーはコチラ! <https://www.hakuzenp.co.jp/activity/>

博善社印刷 検索

